

緑の風



流山市立おおぐろの森中学校

令和5年2月2日(木)

第1学年 学年通信第8号

～1年間の集大成 感謝とエールを胸に～

10年に一度の寒波といわれるほど、寒い気候が続いております。登下校中だけでなく体育の時間や部活動の時間、移動教室の渡り廊下などで寒そうにしている生徒たちに「頑張れ!」「負けるな!」と鼓舞しつつも、我々教員もかなりの寒さに心が打ちひしがれてしまいそうです。日々のニュースでも、いつ積雪するのか分からないという現状が続いています。いつ雪が降っても生徒たちが安全に登下校できるように準備しております。是非、ご家庭でも緊急時の準備やどのように対応するのかを今一度、話してみてください。

さて、2023年になり入学してから10か月が経過しようとしています。時の流れは本当に早いものですね。この10か月で学習だけでなく行事や部活動などを通して生徒たちの成長を目の当たりにしております。この成長を感じている時が教員としてとても嬉しく、まだ1年生なのに2年生、そして3年生になった時はこれ以上に輝いて見えるのかと思うとさらなる期待に心が躍ります。そして、この1年間の成長の集大成を先輩に披露し、今年卒業する3年生へ感謝と高校へ行っても頑張してほしいという思いを込めて、1学年全員で創り上げる行事がやってきます。「3年生を送る会」です。

実行委員がどのようにすれば、1年間の成長と感謝、そしてエールを伝えることができるのかを考え、発表を3つ用意しました。そして今、それぞれのリーダーを決め、学年全体で練習をしている真最中です!



内容は当日までお楽しみですが、リーダーの生徒たちが他のクラスの生徒にどのようにすれば分かりやすく伝えるのかを話し合い、説明の流れを考えたり、動画を撮影したりと様々な工夫が見られました。また、他の生徒たちも何度も何度も練習を繰り返して、たった数時間でそれぞれの発表を完成に近い形に作り上げていました。

残り本番まで約1ヵ月。さらに磨きをかけ、3年生を送り出すだけでなく、感謝を伝え、背中を強く推せる発表を目指し、生徒と共に歩みたいと思います。